

# 新型コロナ covid-19 でご家族がなくなった場合の

## ご葬儀ガイドライン Ver.1

令和3年1月16日

雲松寺 住職 高島 正哲

雲松寺ではこの度、今後、檀信徒の中に新型コロナ covid-19(以下 covid-19)で亡くなられる方が出た場合、お寺も檀家さんも不安なく、亡くなられた方を弔えるように檀信徒の方々<sup>と</sup>現時点でのお寺の方針を共有するために、厚生労働省 経済産業省 の定めるガイドライン等様々な資料を参考に、姫路市における現在の covid-19 で亡くなられた方のご葬儀対応の実際と照らし合わせて、雲松寺の檀信徒の方への対応方針をまとめました。

様々な資料に触れ情報収集して作成しましたが、このガイドラインが「絶対」ではなく、あくまで現時点での指針と捉えていただきたく存じます。ガイドラインは随時更新してまいります。

根本となる考え方として、雲松寺では、covid-19 で亡くなられても、可能な限り普段通りお別れができるように努力したいと考えています。

現在可能な範囲でできるだけ正しい知識をお寺、檀信徒の皆さん共に身に着け、covid-19 に罹患した方そのご家族への偏見差別の起こらないように正しく対処し、心を正しく保つことが covid-19 に負けないことだと考えています。ご一読いただき、ご不明な点や改善点、アドバイス等ご意見をお寄せいただくと幸いです。

### このガイドラインの目的

- 1)「うつらない」「うつさない」ための正しい知識を持ち、行動をするため
- 2)各自が健康状態を把握し、感染した場合の重篤化リスクについて考え、自身の命を守るため
- 3)過剰な制限のもとで本来行えるべき儀礼が行えない場合の檀信徒の葬送儀礼に関する信仰の自由を最大限保護するため
- 4)葬送儀礼を実施する際、ご遺族、葬儀社、寺族等、関連する人への集団感染を防止するため
- 5)covid-19 は、闘病中の面会ができない「さよならのない別れ」となり、且つ「コロナ差別」の偏見を負う可能性も否定できない社会情勢のなかで、ご遺族の悲嘆は深いものとなることが予想されます。そのため、グリーフケアの観点から、葬送儀礼での「お別れ」をする尊厳を最大限保護するため
- 6)covid-19 で亡くなられた場合、平時のように当たり前のお葬式、当たり前の弔いができません。そんな中、少しでも弔いと追善追福のイメージをお寺と檀信徒の間で共有しておくことにより、精神的な不安を和らげるため。

### 実情

現段階での姫路市の対応としては、covid-19 で亡くなられた場合、病院から直接火葬場へ搬送され、ご遺体と面会する事すらなく荼毘に付されます(=直葬)。多くの場合翌日ご遺骨は遺族に渡されお家に帰られることとなります。

焼骨に関しては、火葬で 100℃を超える温度にさらされたウイルスは失活(死ぬ)するので感染リスクはありません。

### ご葬儀

直葬となるのは、感染症対策として、やむを得ない事とはいえ、大切なご家族との死別にあたり、通常通りではなくとも、故人を偲び、又冥福を祈るためにも、グリーフケアの観点からも遺骨葬(後葬<sup>あとそつ</sup>)という形でお別れを勤められることをお勧めいたします。

## 遺骨葬<sup>あとそつ</sup>(後葬)の流れ

Covid-19 で亡くなられた場合、喪主となられる方や近親者は、往々にして濃厚接触者となる可能性があります。

感染の有無、症状の有無に関わらず、covid-19 で亡くなられた場合、亡くなられてから 2 週間までは感染拡大抑止とご遺族の健康状態担保、参列者の安心安全を考慮し、下記のように遺骨葬(後葬)を執り行いたいと思います。

詳細はお電話で、ご相談打合せの上で、予定等を決めさせていただきます。

## シミュレーション

•Covid-19 でご家族が他界



•親族へ連絡



•お寺に連絡

お寺への連絡内容 covid-19 で亡くなられた旨、必ずお伝えください。

お寺は一切他言致しませんのでご安心ください。

連絡者(喪主)の氏名、故人の氏名、連絡者と故人の関係、故人の生年月日と没年月日、  
連絡先(携帯番号)、火葬の予定日時、密葬<sup>みつそつ</sup>、遺骨葬(後葬)のご相談、



•葬儀社に連絡

葬儀社の方に火葬の日時の確認をして、お寺にお伝えください。

(火葬の時間帯に合わせてお寺で読経するため)



•葬儀社の係りの方がご遺体を病院に引き取りに行ってくれます。

多くの場合、ご家族は、ご遺体には面会できません。



•ご遺体はそのまま火葬場へ搬送されます。

亡くなられた時間帯にもよりますが、その日が翌日の夕方火葬されます。

火葬の時間に合わせて住職がお寺でお勤めいたします。(オンライン配信可)

お勤めの前には、お電話、もしくはオンラインを利用してご連絡させていただきます。

ご家族の方も火葬に立ち会うことはできません。収骨(骨上げ)も葬儀社の方にしてもらおうようです。



•ご遺骨を葬儀社から受け取ります。



•ご自宅でご遺骨を安置

ご遺骨を安置してから、密葬のお勤めをいたします。



•密葬<sup>みつそつ</sup>

住職がお寺の本堂でお勤めいたします。(オンライン配信可能)

お勤めの前には、お電話、もしくはオンラインを利用してご連絡させていただきます。

葬儀、七日参りに使用する、白木位牌、塔婆等はお寺でお預かりし、後日お届けいたします。

密葬の各お勤めは、日時をご相談し、お勤めの前にはその都度、お電話、もしくはオンラインを利用してご連絡させていただきます。



・初七日 二・七日

同じく住職がお寺でお勤めいたします。(オンライン配信可)

お勤めの日時等ご相談の上、初七日、二七日もお電話、もしくはオンラインを利用してご連絡させていただきます。



・三・七日 遺骨葬(後葬)

本葬として、亡くなられてから3週目となる三・七日に遺骨葬(後葬)を営みます。

場所は、雲松寺の本堂で執り行います。(本堂での上げ法事と同じイメージ)

お寺のスケジュールにもよりますが、ご相談の上、土日に執り行うこともできます。

お通夜は無しで、当日に通常のお葬式の時のお勤め(約40分間)をします。

この場合も極近親者(概ね3親等まで)のみで10人程度までの参列とします。

法要のみのお勤めとなり、法要前後のお茶や会食はお控え頂きますようお願いいたします。

本堂前から直接本堂へ出入りしていただきます。

・四・七日 五・七日 六・七日

その後の七日参りは通常通りお家へお参りさせていただきます。

(七日参りの予定は予めご相談させていただきます。)

七・七日=四十九日

・人数等、密にならない工夫をして、実施させていただきます。

・ご自宅が密になるようでしたら、お寺で上げ法事も可能です。

法要前後のお茶や会食は、お控えいただきますようお願いいたします。

## Covid-19 に関連する Q&A

Q.covid-19 により亡くなられた方及びその疑いがある方の遺品の取扱いはどのようにすればよいですか。

A.covid-19 の残存期間は、現時点ではプラスチックやステンレス表面で 72 時間、その他の素材ではそれ以下と確認されています。また、新型以外のコロナウイルスの研究では、6~9 日を残存期間と報告しているものもあります。以上を踏まえると、必要に応じて清拭消毒を行えば、遺品の取扱いは通常どおりに行っても問題ありません。現時点では、一定期間(10 日間程度)保管することにより、消毒の代用とすることも可能と考えられています。

(参考)国立感染症研究所:新型コロナウイルス感染症に対する感染管理 環境整備

Q.covid-19 の感染対策が求められている状況で、葬儀、火葬等を執り行う際に注意すべき点は何でしょうか。

A.covid-19 により亡くなられた方の葬儀、火葬等に限らず、通常の葬儀、火葬等においても、遺族等の方、宗教者、会葬者、遺体等を取り扱う事業者が会することによって起こり得る接触感染及び飛沫感染が想定されます。これらは、一般的な感染対策でコントロールが可能であり、対策を講じます。

Q.遺体からの感染リスクが低いという根拠は何ですか。

A.Covid-19 は、感染者の咳やくしゃみ、つば等による飛沫感染や接触感染で感染すると一般的には考えられています。したがって、咳やくしゃみをしない遺体からの飛沫感染のリスクは低く、接触感染対策を講じることでコントロールが可能です。

WHO のガイダンスにおいても、遺体の曝露から感染するという根拠は現時点(2020 年 3 月 24 日版)では低いとされています。

(参考)厚生労働省:新型コロナウイルスに関する Q&A

Q.死亡前又は後の PCR 検査結果が陰性だった遺体の取扱いはどのようにすればよいですか。

A.医師が総合的に判断し感染性がないとした場合は、通常の遺体と同様に取扱っていただいてもかまいません。

## 参考資料

厚生労働省 経済産業省

「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」

浄土宗総合研究所

「新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方の葬儀式等について法要等の執行にあたってのガイドライン」

浄土宗 大阪教区 相阪組 願生寺

「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた檀信徒の寺院での葬送儀礼厳修ガイドライン Ver.3.0」